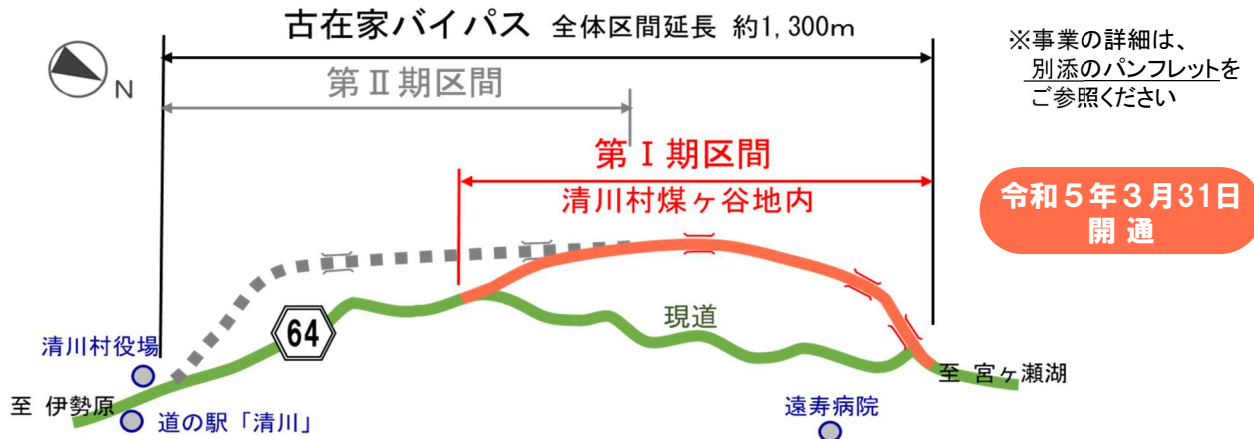
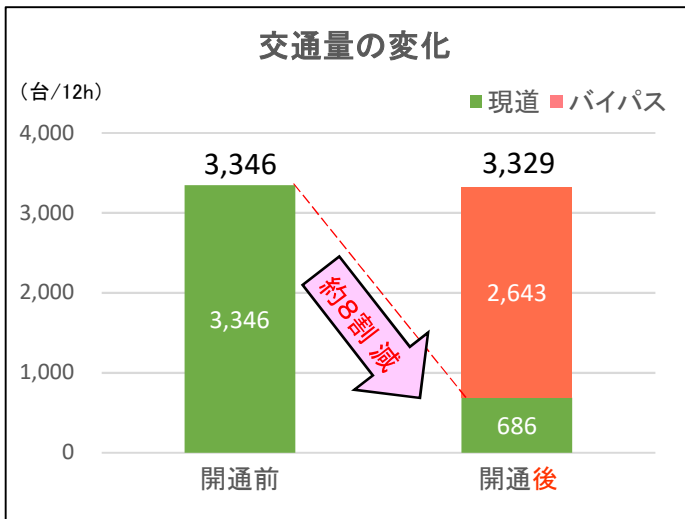


# 古在家バイパス第Ⅰ期区間 開通前後の交通の変化



現道の交通量が約8割減少（バイパスに交通が転換）しました！



〈開通後の古在家バイパス第Ⅰ期区間〉



※交通量は12時間(7時～19時)の合計台数

※調査日：開通前 令和5年3月14日(火) 開通後 令和5年9月27日(水)

〈開通前の現道〉



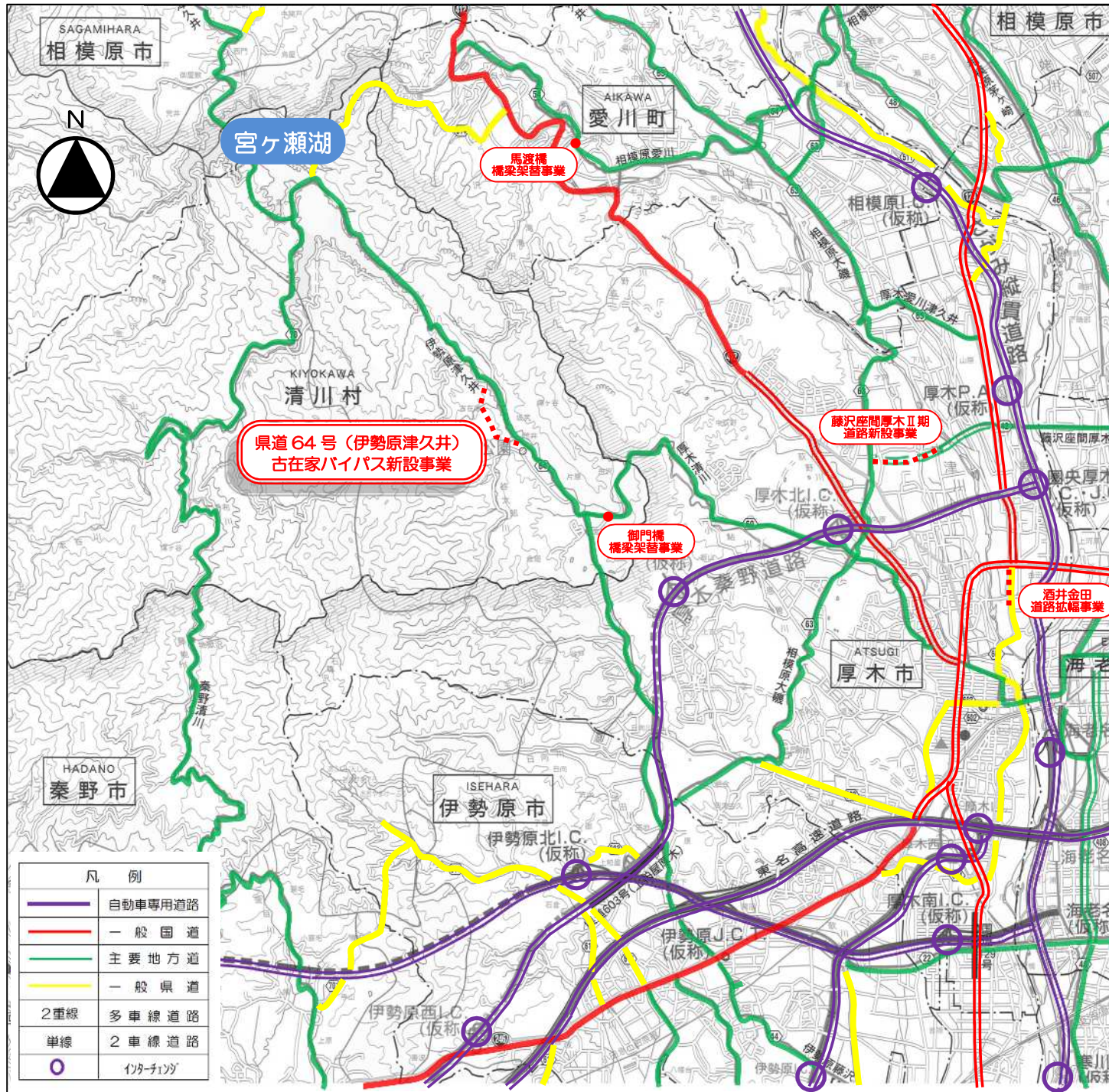
〈開通後の現道〉



### 《地域のみなさまの声》

- 昼間も夜間もとても静かになりました。騒音が大幅に軽減しています。
- 現道は車がほとんど走らなくなったので、安心して歩けるようになりました。

位置図



こざいけ  
古在家バイパス

県道 64 号 (伊勢原津久井) 道路新設事業



地域の交流・連携を支える安全で安心な交流幹線道路網の整備

## 事業の目的

県道64号(伊勢原津久井)は、伊勢原市田中の国道246号を起点とし、厚木市、清川村を經由して、相模原市緑区青野原の国道413号に至る、県中央地域の主要な広域幹線道路です。

このうち、清川村では、国道や鉄道駅がない中、地域の日常生活や物流、防災、医療、観光などを支え、また、幼稚園や小中学校、病院、役場などへのアクセスを支える重要な道路となっています。

しかしながら、現在の道路は、幅員が狭い、また、カーブが多く見通しが悪い、さらに、歩道がない通学路など、交通安全上、支障をきたしている状況です。

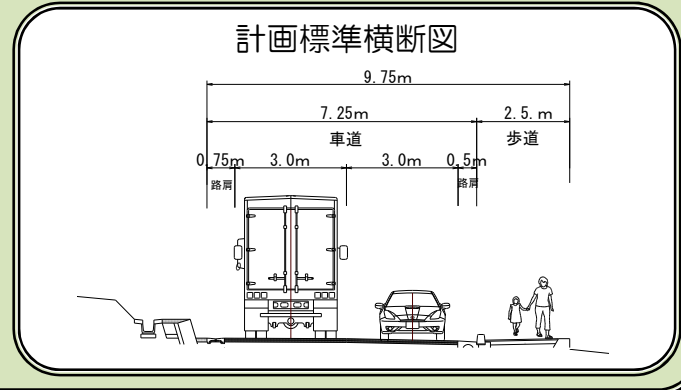
そこで、古在家バイパスを整備し、広域・地域の利便性の向上を図るとともに、現在の道路を本来の生活道路として機能の回復を図るため、平成17年度から実施しているものです。



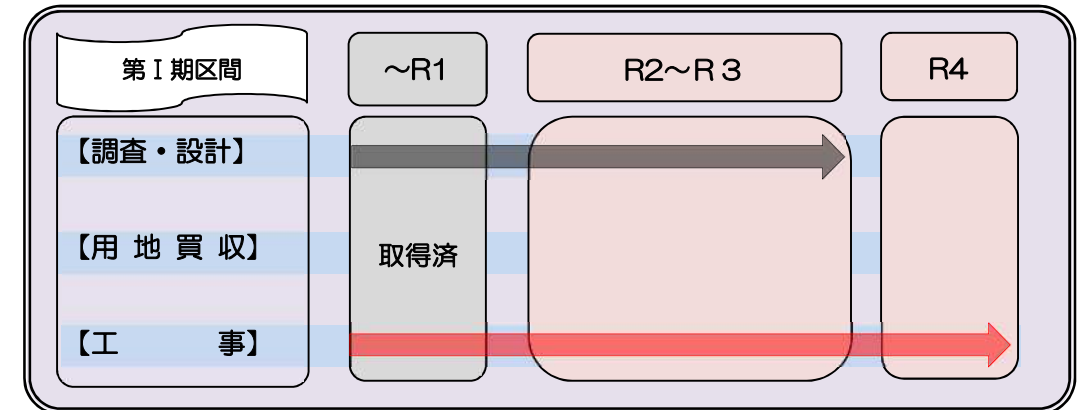
現在の道路状況

## 事業の概要

- 路線名 県道64号(伊勢原津久井)古在家バイパス
- 事業区間 愛甲郡 清川村 煤ヶ谷 地内
- 計画延長 L=約1,300m(進入路区間除く)
  - ・第Ⅰ期区間 L=約800m(進入路区間約300m含む)
  - ・第Ⅱ期区間 L=約800m
- 計画幅員 W=9.75m(車道W=3.0m×2、歩道W=2.5m)
- 道路区分 第3種第3級
- 設計速度 40km/h
- 供用目標 令和4年度(第Ⅰ期整備区間)



## 事業の工程



## 平面図

